

「サークル活動を守り発展させよう! 緊急アンケート」 中間集計結果の発表

(9/8現在 回答数20)

その1

その2は同じ階の別の
掲示板にあります

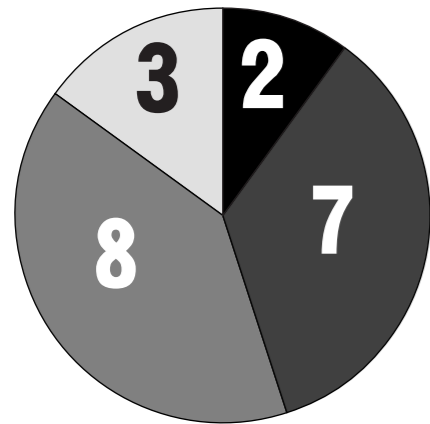
文化団体連合会
090-2331-4456



サークル員のみなさん、アンケートへのご協力ありがとうございました。集計結果は今後の学生部との交渉に生かしていきたいと思っております。引き続きアンケートは集めていますので、まだの方は右のQRコードからぜひご協力をお願いします。

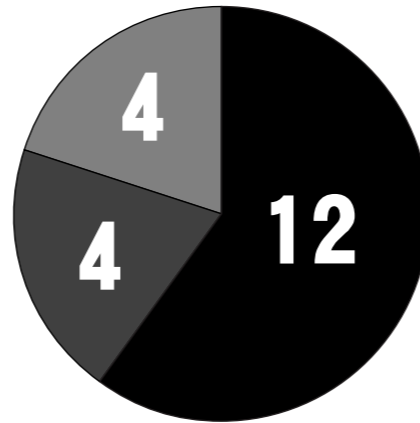
I サークル活動について

1-a 学館の人数制限の影響



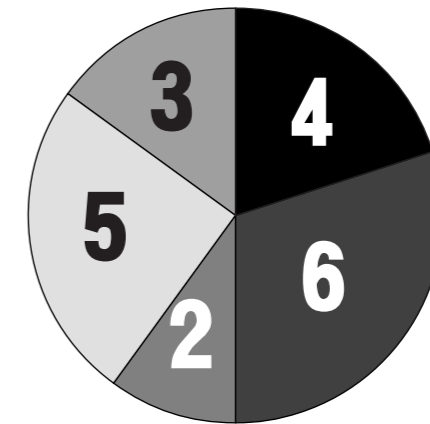
- サークル活動が成り立たない 2
- サークル活動に大きな影響が出る 7
- 何とか活動はできるが影響はある 8
- 影響はない 3

1-d サークル活動場所としての教室の開放



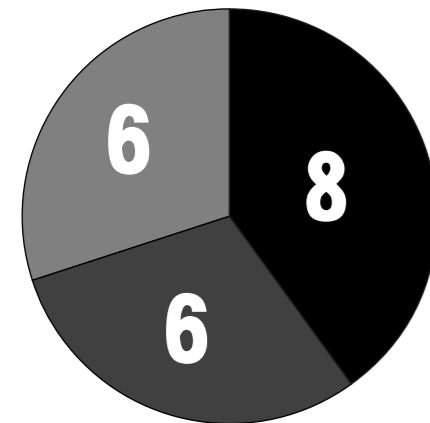
- 開放すべき 12
- 開放しなくてよい 4
- わからない 4

3 「練習」以外の活動禁止について



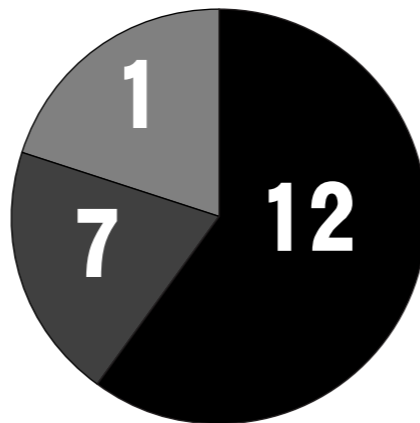
- とても困る 4
- 困る 6
- あまり困らない 2
- 困らない 5
- その他 3

1-b 人数制限についての意見



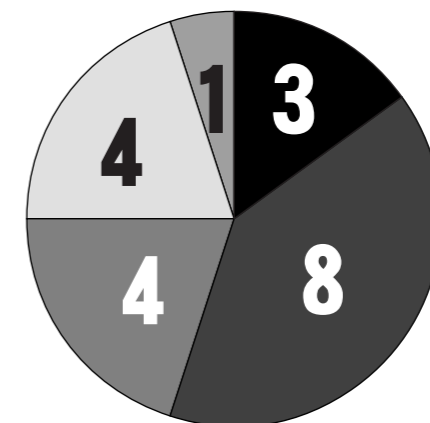
- 画一的な人数制限は必要ない 8
- 人数制限は緩和すべき 6
- いまのままでよい 6

2 学館の開館時間について



- 延長すべき 12
- いまのままでよい 7
- その他 1

4 合宿や遠征の禁止について



- とても困る 3
- 困る 8
- あまり困らない 1
- 困らない 4
- その他 4

1-c 1-bについての理由(抜粋)

- [人数制限は必要ない] 飛沫感染が主とされている以上、マスクをする、大声で話さない等の対策を取れば十分だと考える。現に満員電車におけるクラスターの発生は発表されていない。(実際に発生したか否かは定かではないが)
- [人数制限は必要ない] 2メートルの距離をとるといのは、感染対策をしない場合の濃厚接触にあたる基準。マスクの着用を求めた上で、この基準をあてがうのは成立しない。
- [人数制限を緩和すべき] 厳しい人数制限を設けるといのは大学内から絶対に感染を広げるようなことがあってはならないということに納得せざるを得ないが、例えば席と席の間に仕切りを設けるなど、その他の対策を講じることで緩和できる可能性があるのではないかと考えたため。(しかし、サークル内でそれが徹底できるかについて学生部の把握が難しいので学生たちの信頼が問われることになると思うが…)
- [人数制限を緩和すべき] 感染症拡大防止の観点と、個人の生活における自由との兼ね合いから



文連常任委員会から一言

アンケートを見ても、学館の人数制限の影響は大きいことが分かります。すでに学館での活動を諦め、学外の有料施設を借りざるを得ないサークルも出ています。サークルにとって大きな打撃です。

楽器演奏では「従来の間隔の場合でも、ソーシャルディスタンスを取った場合と比較して飛沫などを介する感染リスクが上昇することを示すデータは得られなかった」という検証結果が、音楽団体から発表されています。学生部は、科学的根拠にふまえ、サークル活動の実情に見合ったかたちで、人数制限を改めるべきではないでしょうか。

公演や対外試合などの禁止も、サークルの存在意義に関わる重大な問題です。一律的に禁止するのではなく、活動再開に向けてどのような感染対策が必要なのか、学生部はサークルからの声をしっかりと聞くべきです〔9/14付の学生部発表で「大会」への参加は一部認められたが、それ以外は禁止のまま〕。